

表 括 総 募 応

公 募 番 号		申 請 職 名	
本件についての連絡先 (こちらへ記載された連絡先に連絡します。連絡を希望する事項欄にのみ記入してください。)			
住 所 (郵 送 先)	〒		
電 話 番 号		F A X 番 号	
E-mail アドレス			
教育や研究実績に関する問合せのできる方 (1名)			
ふ り が な 照 会 者 氏 名			
所 属		職 名	
電 話 番 号			
E-mail アドレス			
※ 必ず、本人の同意を得てください。			

私は、上記の教員公募に応募します。応募書類に記載した内容については
 事実と相違ありません。

なお、私の研究や教育実績に関して、貴校から上記の照会者に問い合わせをすることについては、同意を得ています。

令和 年 月 日

ふりがな

氏 名 (自署)

推 薦 書

推 薦 理 由

令和 年 月 日

推薦者の職・氏名

印

呉工業高等専門学校長 殿

第1号様式

履 歴 書

令和 年 月 日現在

ふりがな	※男・女	本 籍	(写真貼付) 約4×4cm
氏 名		都道府県	
生年月日	年 月 日 生 (満 歳)		
ふりがな			電 話
現 住 所 〒			F A X
			携帯電話
			E-m a i l
ふりがな			電 話
連 絡 先 〒	(現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入)		F A X
			携帯電話
			E-m a i l

学歴（高等学校から）・学位・資格及び職歴（各別にまとめて書く）	
年 月 日	事 項
(学 歴)	
(学 位)	
(資 格)	
(職 歴)	
渡 航 歴 {年 月 日 (滞 在 期 間) , 国 名 , 滞 在 目 的}	

- 記入上の注意
- 1

鉛筆以外の黒又は青の筆記具で記入（ワープロ使用可）。
- 2

数字はアラビア数字で，文字はくずさず正確に書く。
- 3

スペースの使用は任意。

学 会 ・ 協 会 並 び に 社 会 に お け る 活 動	
所属学会（協会）：	

学会役員・委員，自治体運営委員・審議会委員：	

受 賞 ・ 表 彰 等：	

著 書 ・ 論 文（一覧は別添様式2）	
著書 編， 審査付学術論文 編， 国際会議報告 編	
専 門 分 野	

自覚している性格	

特 技 な ど	

応 募 の 動 機	

扶養家族数（配偶者を除く） 人	配偶者 有 ・ 無

著 書 ・ 論 文 一 覧

(令和 年 月 日 現在)

			氏 名		
整理 番号	発表年月日	発 表 課 題 名	発表学会誌名等	著 者	備 考

著 書 ・ 論 文 一 覧

(令和 年 月 日 現在)

			氏 名	広 島 太 郎	
整理 番号	発表年月日	発 表 課 題 名	発表学会誌名等	著 者	備 考
1	昭和59年4月	機械材料	朝倉書店	広島太郎, 呉次郎	①著書
2	平成5年5月	新版機械工学事典	丸善	竹内栄編, 広島太郎外 21名著	〃
3	昭和50年3月	歯車歯面の三次元要素 に関する研究	広島大学	広島太郎	②学位論文
4	平成〇年〇月	××××××××××	△△△△△△ 第〇巻第〇号 ◇◇P~◇◇P	広島太郎 呉 次郎	③ア学术论文 (審査つき)
5	昭和55年8月	ねじり歯車のあたりに 関する研究	日本機械学会論 文集, C編, 第0巻 第0号, 00P~00P	広島太郎 呉 次郎	③イ学术论文 (審査なし)
16	2002年5月	Fatigue life of worm wheel	Proc. of Asian- Pacific Conference on Gear, Honolulu, Hawaii, USA, pp. 00~00.	Jiro KURE and Taro HIROSHIMA	④国際会議 報告
17 : 20	〇〇 2001年6月	〇〇 粉体ダイキャスト新技術	〇〇〇 NEDO地域コンソーシ アム, 同研究会	〇〇 編集: 広島太郎・呉次郎 著者: 広島太郎外17名	〃 ⑤解説記事, 報告書等

- (記入上の注意)
- 著書, 論文について, 次の順ですべて記入して下さい。ただし, ①~⑥が40件を超える場合には, ⑥, ⑦を省略して下さい。なお, 出版(掲載)予定のものについては, 出版社又は学会等の発行する原稿受理証明書又は掲載証明書等の写しを添付して下さい。
 - 著書(単著, 共著及び分担執筆を含む。)
 - 博士学位論文
 - 学术论文(発表年月日の古い順)
 - 学术论文(審査付き)
 - 学术论文(審査なし)
 - 国際会議報告(プロシーディング等)(発表年月日の古い順)
 - 解説記事, 報告書等
 - 国際会議口頭発表(発表年月日の古い順)
 - その他の口頭発表
 - 著書, 論文で最近10年間に発表したなかで主要なもの3件については, 「整理番号」欄の該当番号を○で囲んで下さい。
 - 著者の欄には, 原著の順番に記載し, 著者が10名以上の場合は記入例に従って下さい。

教 育 活 動

		氏 名	
事 項	年 月 日	概 要	
(教育実践の実績)			
(教育方法の工夫・改善)			
(作成した教科書・教材等)			
(教育上の能力に関する評価)			
(その他)			

＜ 記入例 ＞

第 2 号様式の 2 - 1

教 育 活 動

		氏 名	○ ○ ○ ○
事 項	年 月 日	概 要	
(教育実践の実績) 情報処理教育研究強化のための ガイドライン作成 クラブ活動指導 日本建築学会主催「全国大学・ 高専卒業設計展示会」出典 (教育方法の工夫・改善) 始業前読書会の導入 (作成した教科書・教材等) ・作成した教科書 ・授業で教材として使用している 著書等 ・授業のために開発した教材等 (配布用プリント教材, 実験器 具, OHP教材, インターネット 教材, 一連の小テスト, 問題集な ど) (教育上の能力に関する評価) 学生による授業評価 (その他)	平成○年○月○日 平成○年○月○日 ～ 現在 平成○年○月○日 平成○年○月○日 ～ 現在 平成○年○月○日	情報処理教育の充実・強化のために△△大学教 官, ベテラン卒業生及び若手卒業生に対し, アン ケート調査し, 各学科での討論を経て, 充実・強 化のためのガイドラインとしてまとめた。 野球部の部長として学生の指導にあたり, 平成 ○年中国地区大会において 3 位入賞した。 ○○をテーマとした○○を製作指導して出展さ せ, 第 3 位になった。 授業が始まる前に, クラス担任として 1 0 分間 の読書会を導入し, 継続したところ, 学生の正規 授業への遅刻が減少した。 また, 読書に対する学生の興味が増した。 ○○大学において, 学生による授業評価を受け た。授業科目は応用物理及び原子核工学である。 相対的評価は 5 段階評価で, それぞれ, 4. 1 及び 3. 3 であった。	

教 育 活 動

				氏 名		
整理 番号	セミナー・講習 会等の名称及び 応募者の役割	実施時期(年)	実施時間数	主 催	実施場所	対 象

＜ 記入例 ＞

第 2 号様式の 2 - 2

教 育 活 動

				氏 名	○ ○ ○ ○		
整理 番号	セミナー・講習 会等の名称及び 応募者の役割	実施時期(年)	実施時間数	主 催	実施場所	対 象	
1	非常勤講師 応用物理	平成○年～平成○年	前期 3 0 時間	○○大学	○○大学	大学生	
2	講習会 太陽発電の応用	平成○年	8 時間	応用物理学会	○○高専	一般	
3	インストラクター サッカー指導	平成○年	3 0 時間	呉市	○○高専	小学生	
4	○○電機 教育研修所講師 機械材料学 システム工学	平成○年○月 ～平成△年△月	週 4 時間	○○電機	横浜	社員	
5	社内講師 Q C 活動	平成○年○月	5 時間	○○ (株)	広島	社員及び 関連会社 従業員	

特 許 一 覧

				氏 名		
整理 番号	発 明 の 名 称	出 願 番 号	出願年月日	特 許 番 号	登 録 日	発 明 者 明細書の順に記載

＜ 記入例 ＞

第 2 号様式の 3

特 許 一 覧

				氏 名	○ ○ ○ ○	
整理 番号	発 明 の 名 称	出 願 番 号	出願年月日	特 許 番 号	登 録 日	発 明 者 明細書の順に記載
1	○○○の製造方法	特願平○－ ○○○○	平成△年 △月△△日	特許第○○	平成△年 △月△△日	発明 一郎 高専 太郎
2	○○○の製造方法 及び○○○製品					発明 一郎 高専 太郎

（記入上の注意）

1. 発明（特許権）を掲載する。

芸術系活動・フィールドワーク

				氏 名		
整理 番号	年 月 日	課 題 名	主 催 等	共同製作者 共同活動者	内 容	

＜ 記入例 ＞

第2号様式の4

芸術系活動・フィールドワーク

				氏 名	○ ○ ○ ○	
整理 番号	年 月 日	課 題 名	主 催 等	共同製作者 共同活動者	内 容	
1	平成 ○年○月○日	○○○設計コンクール	△△△△学会 ×××支部	広島太郎 呉 次郎	○○○の設計概念 を実現するための 基本設計を行っ た。その結果3位 に入賞した。	
2	○年○月○日 ～○年○月○日	△△△古建築調査	××××協会	広島太郎 呉 次郎	○○市に依頼され て、古建築を保護 するため、○○と 協力して構造を調 べた。	

(記入上の注意)

1. 芸術系活動については、設計競技入選作品のみを記入して下さい。
2. フィールドワークについては、専門に関するもののみ記入して下さい。
3. 共同で実施した場合は、内容欄に本人担当部分を明記して下さい。

著 書 ・ 論 文 の 概 要

				氏 名	
整理 番号	発表年月日	発 表 課 題 名	発表学会誌名等		備 考
概 要					

＜ 記 入 例 ＞

第 3 号様式

著 書 ・ 論 文 の 概 要

				氏 名	○ ○ ○ ○
整理 番号	発表年月日	発 表 課 題 名	発表学会誌名等	備 考	
1	平成○年○月	××××××××××	△△△△△△ 第○巻第○号 ◇◇P～◇◇P	共著者 □□□□, △△△△,	
概 要 (1,000字以内)					

(記入上の注意)

1. 最近 10 年間に発表した著書, 論文で主要なもの 3 件 (第 2 号様式の 1 において整理番号を○で囲んだもの) について作成してください。
2. 「共著」の場合は, 記載されている共著者全員を原著の順番に備考欄に記載し, また, 本人の執筆部分を明記してください。
3. 「整理番号」欄は, 第 2 号様式の 1 の整理番号と一致することになります。

各 種 研 究 助 成 金 ・ 補 助 金 の 取 得 状 況

氏 名

科 学 研 究 費 （ 代 表 ， 分 担 の 別 ）				
年 度	研 究 種 目	研 究 課 題 等	研 究 費	

共同研究，受託研究，国家・自治体・企業等プロジェクト研究，財団助成研究費				
年 度	研 究 種 目	研 究 課 題 等（代表，分担の別）	補 助 団 体	研 究 費

(奨 学) 寄 付 金			
年 度	寄 付 金 の 名 称	寄 付 先	金 額

各種研究助成金・補助金の取得状況（リーダーとして）

氏 名

科 学 研 究 費 （ 代 表 ， 分 担 の 別 ）				
年 度	研 究 種 目	研 究 課 題 等	研 究 費	
平成8年～ 平成10年度	基盤研究（B）	ドーピング法を用いた界面操作による超高温複合材料の基礎的研究（代表）	4, 6 0 0 千円	
平成11年度	基盤研究（C）	セラミックス複合材料の界面研究（分担）	0 円	
共同研究，受託研究，国家・自治体・企業等プロジェクト研究，財団助成研究費				
年 度	研 究 種 目	研 究 課 題 等（代表，分担の別）	補 助 団 体	研 究 費
平成10年度	共同研究	半溶融鋳造法による軽金属複合材料の信頼性向上（代表）	（財）〇〇県産業技術振興機構	1, 0 0 0 千円
平成9年～ 11年度	NEDO地域 コンソーシアム プロジェクト研究	ダイカストの生産性向上に関する研究開発（代表）	新エネルギー・産業技術総合開発機構	260, 000千円 （3ヶ年間）
平成12年～ 13年度	受託研究	鉄骨耐震補強工法の省力化技術開発（代表）	（株）ABC （〇〇県中小企業振興公社補助金付）	5, 0 0 0 千円
(奨 学) 寄 付 金				
年 度	寄 付 金 の 名 称		寄 付 先	金 額
2002年	ラッシュアジャスターに関する研究		〇〇通商（株）	6 0 0 千円

着任後の教育・研究に対する抱負

氏 名	